

合氣道

道主植芝守央

東京都合氣道連盟広報

○ 発行日：令和8年1月14日(水)

○ 発 行：東京都合氣道連盟

〒162-0056

東京都新宿区若松町17番18号

(公財)合気会内

電 話：03-6457-3315

F A X：03-6457-3317

e-mail : info@tokyo-aikido.com

<https://www.tokyo-aikido.com/>

○ 発 行 人：井阪 有一

○ 編集責任者：美濃部 智子

年頭のご挨拶	2
少年部指導法講習会報告	2
第42回東京都合氣道連盟評議員会報告	3
令和7年度 東京都合氣道演武大会	4
令和7年度 東京都合氣道錬成大会	5
合氣道錬成講習会	6
東京都地域社会合氣道指導者研修会	6
生涯スポーツ功労者表彰	7
生涯スポーツ優良団体表彰	7
全日本合氣道演武大会都連演武者	8
全国高等学校合氣道演武大会報告	8
後援報告	8
植芝守央道主 植芝充央本部道場長に正副理事長就退任のご挨拶	9
植芝守央合氣道道主 旭日小綬章受章祝賀会	9
全国合氣道指導者研修会報告	9
新規加盟団体紹介	10
退任のご挨拶	10
令和8年主要行事予定	10
編集後記	10
新役員紹介	11
第41回評議員会資料	12



photography 笠原 泰三



東京都合気道連盟
理事長 井坂 有一

謹んで新年のお祝いを申し上げます。

会員、役員の皆様には日頃より東京都合気道連盟の活動、運営にご尽力、ご協力を賜り改めて厚く御礼申し上げます。

本連盟は昨年より三団体増え、百七十七団体で新年を迎えることができました。

昨年より新理事体制がはじまりました。

東京都合気道連盟は、初代の理事長が植芝守央道主であり、私で六人目となります。道主のお言葉をお借りすれば「各加盟団体の相互の融和と親睦が図かられ、しっかりと稽古を続けてきたことが連盟の歴史の礎である」ということであります。私もこの言葉にしっかりと向き合いこれからも務めて参りたいと考えております。昨年一年を通じ、事業を無事完遂できましたのも、ひとえに合気道道主、植芝充央合気道本部道場長、本部道場指導部の皆様をはじめ多くの方々のお陰と深く感謝を申し上げます。

さて、昨年は東京都合気道連盟の四十周年の記念すべき年でありました。六月には記念の演武大会を開催し、道主・道場長ご臨席の下、九十六団体、一〇八五名にご参加をいただきました。団体演武、ユース演武、各団体の推薦による代表者演武、そして昨年から参加いただいている本部道場会員の方にも

演武をいただきました。締めくくりには本部道場長より白眉の総合演武をご披露いただきました。盛大な会とすることことができました。

また、何と申しましても、昨年は道主が旭日小綬章を受章されるという合気道界にとては誠にめでたい出来事があった年でもありました。十一月には京王プラザにて祝賀会が開催され、都連から多くの会員が参加をいたしました。日本全国、いや世界中から集まつた道友とともに祝いを申し上げることができました。誠に記念すべき会がありました。

十二月には、周年記念の鍊成大会・特別講習会および祝賀会を開催しました。鍊成大会には、道主・道場長お二方から教えをいただけるという貴重かつ光栄な機会をいただきました。基本の動き、呼吸法がすべての技にながついているということを様々な技を通じてお教いいただきました。六百名を超える連盟会員、県内外および本部道場の道友に参加いただき、東京武道館の大武道場七百畳を埋め尽くすような盛会となりました。その後、場所をアートホテル日暮里ラングウッドに移し、同じく道主・道場長にご臨席の下、百五十名をこえる参加をいただき記念祝賀会を開催いたしました。道主、ご来賓からご祝辞を賜り、鏡割りを行い、皆様より周年の記念をお祝いいただきました。奇しくもこの日は開祖のお生まれになられた日でもありました。

閉会式にて日野師範より、各道場で子供達を教える際に今日の講習を参考にしてくださいと総評を頂きました。

木下悦子副理事長より閉会の挨拶があり、少年部指導員の紹介がありました。講習会は十三時十五分から二時間半行われました。前半は年少者を対象とした指導法。後半は年長者向けと二つに分けて講習が進められました。

年頭に当たり、皆様のご健勝とご発展を信じ、心身の鍛成と会員相互の親睦の場をご提供できればと考えております。

年頭に当たり、皆様のご健勝とご発展を祈念し、また皆様からのご支援、ご助力をよろしくお願い申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。

少年部指導法講習会報告

令和七年二月二十三日(日)
港区スポーツセンター武道場
に於いて、東京都合気道連盟主催による令和六年度少年道場指導部師範をお招きし、二十六団体四十七名、役員六名が参加しました。

集合写真撮影の後、東京都合気道連盟大田勤副理事長の司会のもと開会式が行われました。主催者挨拶にて東京都合気道連盟藤城清次郎理事長より、参加に対する感謝と講習の成果を各道場に持ち帰ってくださいとの挨拶がありました。統いて今回の講師である日野師範より、本部道場少年部で行っている指導法を紹介しますとご挨拶を頂き、司会者より港区合気道連盟 関根史郎会長の紹介がありました。



講習会は十三時十五分から二時間半行われました。前半は年少者を対象とした指導法。後半は年長者向けと二つに分けて講習が進められました。

日頃の指導で、稽古開始五分前から子供達を集めて大先生のお話をすることや、服装、姿勢、気持ちの確認を最初と最後に行うこと。大きな声を出すことの大切さの説明がありました。準備体操から受身について、一動作毎に丁寧な説明があり、道場で一所懸命やる子を褒めるとその子の動きが周りに伝播して他の子も上手くなっています。道場全体の環境作りについての説明もありました。

後半の年長者向け指導法講習では、年長者の体力作りや、更に難しい動作を取り入れた準備体操の実習を行いました。実技で特に戸惑う子供が多い、横面打ちの体の捌き方の指導法や正面打ち三教、諸手取り、後技について御指導をいただきました。

木下悦子副理事長より閉会の挨拶があり、少年部指導員の挨拶があり、少年部指導法講習会は無事に終了いたしました。閉会後、参加者何人かに感想を聞くと、「すごく面白かった」、「早速指導に取り入れてみます」、「日頃上手くできない子ばかり注力していたが、やる気のある子を褒めると他の子も伸びるというお話を目にからうるこが落ちる思いでした」などの感想が寄せられました。



令和七年四月十九日東京都合気道連盟第四十一回評議員会が日本教育会館「松の間」で開催されました。総評議員数百七十七名、出席五十一名、百二十六名の委任状、合わせて定足数の百十八名を超える、ご参加を頂き評議員会が成立致しました。改めて皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

定刻午後三時、木下副理事長の司会により会議が始まり、藤城清次郎理事長から開会の挨拶を申し上げ、議長として定足数の確認、会議の成立を宣言いたしました。続いて議事録署名者に合気道仁昌会川口剛雄評議員、大田副理事長の二人を、又議事録記録者に植田理事を指名し、いずれも承認されました。



議案一「令和六年度事業報告(案)」については大田副理事長が、議案二「令和六年度収支決算報告(案)」については鈴木副理事長から報告し、議案三「規約一部改正(案)」、役員任期および就任条件を細則で定める旨の改正について大田副理事長から報告し、承認されました。また本年は理事改選の年度であり、新たに設けました理事選考委員会を通じて選考された理事・監事について議案四「理事・監事の選任(案)」として小柳副理事長から報告し、本選考結果が承認されました。このあと新体制のもと、第二四八回理事会を開催し、新理事長として井阪有一を選出、統いて新理事長により副理事長を選任、顧問・相談役・参与の委嘱、また理事および監事の就任条件にかかる細則追加について報告をし、これらすべてについて理事会により承認されました。理事会の後、司会を美濃部副理事長、議長を新理事長に交代し、評議員会の続きを改めて確認いたしました。議案一に関して、文京区にかかる事業について明清会猪谷評議員から照会があり、小柳副理事長から区の裁定を待つての状況であり、理事会としても待ちの状況である旨ご説明いたしました。

続いて、議案三「規約一部改正(案)」、役員任期および就任条件を細則で定める旨の改正について大田副理事長から報告し、承認されました。また本年は理事改選の年度であり、新たに設けました理事選考委員会を通じて選考された理事・監事について議案四「理事・監事の選任(案)」として小柳副理事長から報告し、本選考結果が承認されました。このあと新体制のもと、第二四八回理事会を開催し、新理事長として井阪有一を選出、統いて新理事長により副理事長を選任、顧問・相談役・参与の委嘱、また理事および監事の就任条件にかかる細則追加について報告をし、これらすべてについて理事会により承認されました。理事会の後、司会を美濃部副理事長、議長を新理事長に交代し、評議員会の続きを改めて確認いたしました。議案一に関して、文京区にかかる事業について明清会猪谷評議員から照会があり、小柳副理事長から区の裁定を待つての状況であり、理事会としても待ちの状況である旨ご説明いたしました。

続いて、議案三「規約一部改正(案)」、役員任期および就任条件を細則で定める旨の改正について大田副理事長から報告し、承認されました。また本年は理事改選の年度であり、新たに設けました理事選考委員会を通じて選考された理事・監事について議案四「理事・監事の選任(案)」として小柳副理事長から報告し、本選考結果が承認されました。このあと新体制のもと、第二四八回理事会を開催し、新理事長として井阪有一を選出、統いて新理事長により副理事長を選任、顧問・相談役・参与の委嘱、また理事および監事の就任条件にかかる細則追加について報告をし、これらすべてについて理事会により承認されました。理事会の後、司会を美濃部副理事長、議長を新理事長に交代し、評議員会の続きを改めて確認いたしました。議案一に関して、文京区にかかる事業について明清会猪谷評議員から照会があり、小柳副理事長から区の裁定を待つての状況であり、理事会としても待ちの状況である旨ご説明いたしました。

午後四時五分に評議員会が終了し、その後午後四時十五分より同「芙蓉の間」で情報交換会を開催し、評議員・オブザーバー・役員、総計七十七名に参加頂き、成功裏に終了しました。以上第四十一回評議員会のお礼とご報告を申し上げます。

今後は新理事体制のもと、皆様とともにに合気道の普及と振興の推進、会員の皆様の心身の健全な発展への寄与、会員相互の融和と親睦に向け引き続き取り組んで参りたいと考えておりますので、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

(記・井阪)



東京都合気道連盟創立四十周年を記念して「東京都合気道連盟創立四十周年記念 令和七年度東京都合気道演武大会」が去る六月十五日(日)に東京武道館にて開催された。参加は九十六団体、二〇八五名に上り、昨年を上回る多くの演武者が集結し、会場は一層の賑わいを見せた。

大会は植芝守央合気道道主、植芝充央本部道場長、寺内定雄東京武道館館長他、多数のご臨席を賜り、盛会のうちに開催された。

開会式は井阪有一大会委員長による開会の辞の後、藤城清次郎大会会長が主催者挨拶を行った。東京都合気道連盟初代の理事長は、当時の本部道場長で現道主植芝守央先生です。またこの度、春の叙勲において、道主が旭日小綬章受章されました。開祖盛平翁二代吉祥丸道主、三代続いての受章は武道界においても、また他の業界においても類を見ないことで、名誉あるとともに、心より御祝を申し上げます。我々連盟を道主がお作りになつた当初、三十九団体の小さな団体でしたが、今、四十周年を迎えるにあたり百七十六団体と大きな団体に成長しました。これもひとえに道主はじめ、公益財団法人東京都スポーツ協会、東京都スポーツ文化事業団、公益財団法人合気会、全日本合気道連盟他、各機関のご協力ご厚意によるものです。改めて感謝申し上げます。このように演武会を盛大に開催できることは、皆さまの大いなる力添えをはじめ、歴代の会長、理事長など多くの方々のご尽力の賜物と深く感謝いたします。

四十周年を通過点として、さらに五十年、六十年、百年と、後世に正しい合気道を伝えるべく東京都合気道連盟として邁進してまいります。本日は一〇〇〇名以上の皆様に演武をいたさいます。また植芝充央合気道本部道場長には締めくくりの演武をご披露頂きます。また大会にはサポートスタッフとして百八十名に及ぶ皆様にご協力を頂いており、改めて感謝申し上げます。

統じて植芝守央道主よりご挨拶賜り「東京都合気道連盟創立四十周年記念演武大会がここ東京武道館で一〇〇〇名以上の方々がお集まりになりました。後世に正しく思っています。東京都合気道連盟発足時は、およそ四十団体。十年後には百七十以上の合気会に登録された団体が東京

都合気道連盟の力であります。四十年間素晴らしい歩みをしたと思っています。現在合気道は世界百四十の国と地域に大きな広がりとなっています。このように大きな輪が広がったのは合気道開祖植芝盛平翁が創始した合気道の素晴らしさだと思います。同時に首都東京、合気道本部道場の膝元で、都連に加盟している団体が相互に融和を図るために日々研鑽をしながら活動をされていることが本日の合気道の輪につながっていると確信しております。これからこの素晴らしい合気道を止しくいい形で後世に伝えていくのは私達の役目だと思います。是非、皆様方にもそういう気持ちは持つて進んで頂きたいと思うと同時に、本日演武される皆様、日頃の稽古の成果を十分に発揮して演武に臨んでいただきたいと思います」と述べられた。

次に来賓祝辞では、寺内定雄東京武道館館長、林典夫公益財団法人合気会常務理事、宮本鶴蔵全日本合気道連盟理事長より頂戴し、演武大会に移つた。

第一部および第五部の団体演武では、年齢層か

ら級位・段位に至るまで幅広い演武者が参加し、

各道場の個性と熱意がじみる演武が披露された。

第二部は大会初の試みとして設けられたユース演武では、十団体より十五歳から二十五歳未満の演武者三十七名が参加し、若さあふれる演武で今後の合気道界への期待を抱かせる演武であった。演武を受けた四十八名による第三部の代表者演武は、参段から八段までの多彩な層による見応えある個人演武が披露された。第四部は昨年に続く本部道場会員による演武で、五十六名が日々の稽古の成果を堂々と披露した。

最後に、本大会の締めくくりとして、植芝充央本部道場長による基本を中心とした徒手や武器取りの立ち技・座り技から多人数掛けまでの総合演武を披露いただいた。総合演武の後、植芝充央本部道場長へ謝意を表し花束の贈呈が行われた。

なお、演武大会の開催にあたっては、加盟団体から約百八十名の運営サポートスタッフが参集し、円滑な大会運営に多大な尽力を頂いた。



東京都合気道連盟創立40周年記念 令和7年度東京都合気道錬成大会 道主特別講習会

講習会は入身・転換・丸い動きといった基本的な動きそして呼吸が行い、会の幕を閉じた。

開会式では、井阪理事長による開会の辞、国歌斉唱、藤城顧問による主催者挨拶、道主からお祝辞をいただき。都連の初代理事長が道主であつたとのご紹介があり、これまでに六代に亘る理事長を経て現在にいたつてのこと、都連は各加盟団体の相互の融和と親睦が図かられ、しっかりと稽古を統けてきたことが今日の加盟百七十七団体となつた礎であること、またこれからも稽古を通じてよいものをよいかたちでつないでいくことが大切であるとお言葉をいただいた。その後、東京武道館の寺内館長にからも祝辞を頂戴し、来賓紹介、祝電披露のち、道主・道場長のご指導による

東京都合気道連盟創立四十周年記念令和7年度東京都合気道錬成大会道主特別講習会が、植芝守央道主、植芝充央本部道場長をお迎えし、十二月十四日に東京武道館大武道場において都連加盟団体八十四団体、本部道場はじめ近隣県から六百人を超える参加者を迎えて、盛大に開催された。

開会式では、井阪理事長による開会の辞、国歌斉唱、藤城顧問による主催者挨拶、道主からお祝辞をいただき。都連の初代理事長が道主であつたとのご紹介があり、これまでに六代に亘る理事長を経て現在にいたつてのこと、都連は各加盟団体の相互の融和と親睦が図かられ、しっかりと稽古を統けてきたことが今日の加盟百七十七団体となつた礎であること、またこれからも稽古を通じてよいものをよいかたちでつないでいくことが大切であるとお言葉をいただいた。その後、東京武道館の寺内館長にからも祝辞を頂戴し、来賓紹介、祝電披露のち、道主・道場長のご指導による



法、すべての技がこれらを使ってできていること、それが様々な技につながっていることを、見取りを通じてお示しいただいた。途中、阿吽の呼吸で道主から道場長に交代され、道場長からは半身半立ち、座技、そしてまた異なるたった攻撃からの技を、道主の言われた内容を一貫したかたちで、力強く稽古をいただいた。最後は呼吸をおちつけるように、再び道主によって締められ、汗だくになりながらもそのことすら忘れる一時間半の稽古となつた。錬成大会のあと、道主・道場長に花束が贈呈され、大きな拍手が贈られた。小柳副理事長による閉会の辞により錬成大会は幕を閉じた。

その後、アートホテル日暮里ラングウッドに場所を移し、四十周年記念祝賀会が十七時半より開催された。参加者は百五十人を超えて、満員御礼の様相であつた。会に先立ち、道主・林合気会常務理事、尾崎全日本合気道連盟相談役よりお祝辞を賜り、道主・道場長含む代表五名で鏡開きが行われた。奇しくもこの日は開祖植芝盛平翁の誕生日であり、そのこともあわせて乾杯を行つた。会場は道主・道場長への御礼や記念撮影の長蛇の列、団体を超えた親交の場となり、あらためて合気道つながりに深さや広がりを確認しあう場となつた。こちらも時間をお忘れの二時間であり、最後は、記念行事にかかわつていただいたすべての皆様への感謝の言葉とともに締めの挨拶を井阪理事長が行い、会の幕を閉じた。

(記・井阪)

合 気 道 鍛 成 講 習 会

東京武道館主催 令和六年度合気道鍛成講習会が令和七年三月二十日(春分の日)に東京武道館第一武道場にて開催された。

本事業は東京武道館主催で二年に一度開催され、

午前の部の講師は櫻井寛幸

本部道場指導部師範と野

中力樹本部道場指導部指

導員、午後の部の講師は難

波弘之本部道場指導部師

範とアレクサン・セシナス本

部道場指導部指導員が指

導された。

最初に東京武道館の寺内

館長による開会の挨拶、引

続き東京都合気道連盟の

藤城理事長が挨拶された。

その後、三十七名の参加

者が爽快な汗をかきながら

講習会がスタートした。

午前の櫻井師範の講習

は、「基本技における体裁

きの確認」というテーマのも

と(相手と体を合わせること

を意識)しての片手取り

転換から始まり、立ち技か

らの呼吸法、統いて(体の入

替を意識)しての横面打ち

からの四方投げ・入り身投

げ、一教、小手返し、その後

は(体を開くことを意識)

しての肩取りからの第二教

へと展開して指導が行われ



た。終始、体捌きを大切にしていくという事を
中心に午前中の講習が終了した。

午後の難波師範の講習は「転換の体捌きか
ら基本・応用技への転換」

をテーマに、手のひらの表・
裏(陽・陰)を意識しての転
換法。統いて相手と一体とな
り相手の動きに合わせての
各種転換法へと統いた。同じ
く、手のひらの表・裏(陽・
陰)を意識し相手と一体と
なっての片手取り入り身投
げ、呼吸投げ、回転投げへと
展開された。

さらに大先生の言葉で
ある「右手を(陽)に、左手を
(陰)に」を引用し、(陽)の手
をあげ、(陰)の手を下げる事
をイメージしての天地投げ。
相手の動きを意識しての自
由技。終始、相手の状態に合
わせ手の(陽・陰)を意識し
て技をかけるよう指導され、
午後の講習を終えた。

午前・午後、それぞれ二時
間近い講習会もあつという間
に終了し非常に密度の濃い
稽古となつた。

講習会終了後、閉講式にお
いて難波師範による講評が
行われ、東京武道館主催令
和六年度合気道鍛成講習会
は無事に終了した。



二十一日十時、東京武道館サービス担当・河野
里織主事が司会進行をされ、同じくサービス
担当・石崎正弘課長が開式通告されました。そ
の後東京武道館寺内定雄館長、東京都合氣
道連盟藤城清次郎理事長、中央講師・大澤勇
人師範の挨拶をいただきました。二十一日午
前二十二日午前・午後と計三回に分けて、大
澤勇人師範および村田憲一郎先生から「合氣
道の基本について」というテーマで実技のご指導
をいただきました。初日午前は構え方から始ま
り、一つ一つの動き、受けと取りの最初の雰囲気
をいたしました。初日午後は構え方から始ま
り、一つ一つの動き、受けと取りの最初の雰囲気

をいたしました。二十二日午前は構え方から始ま
り、一つ一つの動き、受けと取りの最初の雰囲気
をいたしました。二十二日午後は構え方から始ま
り、一つ一つの動き、受けと取りの最初の雰囲気
をいたしました。二十二日の参加者は役員含め八十四名で
しました。

二十二日十五時四十五分に研修すべて終了
し、その後閉会式が行われ、参加者には修了証
が授与され、解散しました。二十二日の参加者
は役員を含め八十一名でした。



令和六年十二月二十一日(土)二十二日(日)
に令和六年度東京都地域社会合気道指導者
研修会が東京武道館で開催されました。

主催・公益財団法人合気会

全国都道府県立武道館協議会

後援・日本武道協議会

東京武道館武道協議会

主管・東京都合気道連盟

中央講師として合気道本部道場指導部大
澤勇人師範、村田憲一郎北海道大学合気会合
氣道部顧問が実技指導を担当し、地元講師と
して・山本高英先生(公財)合気会監事)、貝塚
茂樹先生(武藏野大学教授)が担当しました。

二十一日十時、東京武道館サービス担当・河野

里織主事が司会進行をされ、同じくサービス
担当・石崎正弘課長が開式通告されました。そ

の後東京武道館寺内定雄館長、東京都合氣
道連盟藤城清次郎理事長、中央講師・大澤勇
人師範の挨拶をいただきました。二十一日午

前二十二日午前・午後と計三回に分けて、大

澤勇人師範および村田憲一郎先生から「合氣
道の基本について」というテーマで実技のご指導
をいたしました。初日午前は構え方から始ま
り、一つ一つの動き、受けと取りの最初の雰囲気

をいたしました。二十二日午前は構え方から始ま
り、一つ一つの動き、受けと取りの最初の雰囲気
をいたしました。二十二日午後は構え方から始ま
り、一つ一つの動き、受けと取りの最初の雰囲気
をいたしました。二十二日の参加者は役員含め八十四名で
しました。

二十二日十五時四十五分に研修すべて終了
し、その後閉会式が行われ、参加者には修了証
が授与され、解散しました。二十二日の参加者
は役員を含め八十一名でした。

東京都地域社会合気道指導者研修会

と次の技へ
移る時の位
置、間合いの
取り方等、
た。受けが
攻める、取
りが攻める、声を出して攻める稽古法等、紙面
では書ききれない実技講習で、基本技は網羅し
ていました。

二十二日二日目は午前、午後【講義A】山本
高英先生、村田憲一郎先生の実技指導が行わ
れ、午後は配布された資料「武道」及び「武道
練習」の紹介があり、その実技を参加者は模索
しながら稽古しました。初日の午後は大研修
室にて【講義A】山本高英先生の講義は「開祖
の上京から植芝道場設立まで(竹下海軍大將
の献身的支援)」でした。山本先生の長きに渡
る古い資料調査があり、興味深い講義でした。
【講義B】貝塚茂樹先生の講義は「現代社会
と「型の教育」身体文化(礼法)の再発見」でし
た。貝塚先生の講義はユーモアあるそして理解
しやすく、型稽古の重要性、意味、型と個性の
関係、腰肚文化などを学び、改めて合気道のす
ばらしさを再認識しました。講義が終わつた
後、参加者から「面白かった」との声が上がりま
した。二十二日の参加者は役員含め八十四名で
しました。

二十二日十五時四十五分に研修すべて終了
し、その後閉会式が行われ、参加者には修了証
が授与され、解散しました。二十二日の参加者
は役員を含め八十一名でした。

NTT東日本東京合気道部

監督 井阪 有一

去る五月十日、東京体育館にて東京都合



生涯スポーツ功労者表彰を受けて

港区合気会

理事長 数屋 誠司



生涯スポーツ優良団体

心がけており、合気道が初めての方でも安心して、そしてやりがいを感じながら稽古に取り組める環境を整えています。また、月に一度は本部道場指導部より菅原繁師範をお招きし、直接指導いただいております。現在では、下は中学生から上は七十代まで、幅広い年代の会員が共に汗を流しています。それぞれの体力や目的に合わせ、無理なく楽しみながら心身を鍛錬できる環境を整えています。

港区合気会が長年に渡り活動に寄与してきた港区合気道連盟は、今年度八団体を擁する大所帯となりました。これは地域における合気道の普及と貢献に大きく寄与しております。

港区合気会が長年に渡り活動に寄与してきた港区合気道連盟は、今年度八団体を擁する大所帯となりました。これは地域における合気道の普及と貢献に大きく寄与しております。

港区合気会は、合気道の普及・発展に尽力し、地域に根ざした活動を続けてまいります。利便性の高い立地と仕事帰りにも参加しやすい稽古時間を活かし、老若男女問わず、誰もが気軽に合気道を始め、心身ともに健やかなる毎日を送れるよう、より一層の精進を重ねていく所存です。

今後とも、皆様のご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申しあげます。

(7)

広報 連道 気合 都市 京都

氣道連盟の推薦により、公益財団法人・東京都スポーツ協会より生涯スポーツ功労者として表彰をいただきました。身に余る光榮です。

合気道連盟では同時に、港区合気会、大田区合気道連盟と一緒に表彰の榮誉を受けました。

私が合気道を始めたのは、昭和六十三年

／平成元年です。全く運動してこなかつた私が、大学の先生のご縁

をいただいてはじめたのがきっかけでした。

すぐやめるつもりでしたし、当時は全くついていけず苦労をしましたが、続けていくうちに私でもできるのだと感激したのをよく覚



私は合気道を始めたのは、昭和六十三年／平成元年です。全く運動してこなかつた私が、大学の先生のご縁をいただいてはじめたのがきっかけでした。

すぐやめるつもりでしたし、当時は全くついていけず苦労をしましたが、続けていくうちに私でもできるのだと感激したのをよく覚

ました。

私は合気道を始めたのは、昭和六十三年／平成元年です。全く運動してこなかつた私が、大学の先生のご縁をいただいてはじめたのがきっかけでした。

すぐやめるつもりでしたし、当時は全くついていけず苦労をしましたが、続けていくうちに私でもできるのだと感激したのをよく覚

私は自らの過去の経験に基づき、いろいろな年齢や運動経験によらず誰もができること、興味を持つてくださるだけ多くの方に合気道をつなげていくことが大切だと感じています。

最後になりましたが、今回の榮誉を受けましたのは、ひとえに今までお導きをいただきました植芝守央道主はじめ諸先生方、東京

都合気道連盟の役員の皆様、これまで一緒に稽古してくださいました道友の皆さまのお陰と感謝申し上げます。

港区合気会は、JR田町駅直結の港区スポーツセンターを拠点に、毎週金曜日の十九時から二十一時まで稽古に励んでおります。この利便性の高い立地と時間帯から、田町周辺を職場とされている方が多く、仕事帰りに気軽に立ち寄って稽古に励んでいらっしゃるのが当会の特徴の一つです。当会では、特に受身を重視した丁寧な指導を



港区合気会は、JR田町駅直結の港区スポーツセンターを拠点に、毎週金曜日の十九時から二十一時まで稽古に励んでおります。この利便性の高い立地と時間帯から、田町周辺を職場とされている方が多く、仕事帰りに気軽に立ち寄って稽古に励んでいらっしゃるのが当会の特徴の一つです。当会では、特に受身を重視した丁寧な指導を

中央区合気会 新 祐子



貴重で名誉な機会を頂き、誠にありがとうございました。改めまして、私を推薦してくれた中央区合気会、ならびに東京都合気道連盟の皆さんに心より感謝申し上げます。今回出場の機会を頂き、どのような演武をするのかを考えた時に、真っ先に頭に思い浮かんだのは、自分の合気道人生を支えてくれているお一人の師範の姿でした。「私らしい演武」の中に、少しでも師範方の教えを体現できましたとしたら、これに勝る喜びはありません。本番は、直前までの緊張が嘘のように、集中して落ち着いた演武ができました。自分の自分ができる精一杯のことは表現できたかと思います。

折に触れてあの時の演武を思い出しては、もとと他に何かできたのではないか、と未熟な自分に恥ずかしくなることもあります。今はこの演武大会が、自分の中の一つの大きなターニングポイントとして、前向きに稽古に励むモチベーションへと繋がっています。

当日、私の演武を親のような気持ちで見守つてくれた道場の皆さん、応援してくれた友人との出会いと成長があつて、今の自分がここにいます。どうか今後とも引き続きご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願ひいたします。



この度は東京都合気道連盟代表として指導者演武の機会をいただきありがとうございます。日頃の稽古鍛錬の成果を発表する場を与えていただき、厚く御礼申し上げます。

合気道臥龍会 斎藤 将貴



荒川合気会の高校生

この度は東京都合気道連盟代表として指導者演武の機会をいただきありがとうございます。日頃の稽古鍛錬の成果を発表する場を与えていただき、厚く御礼申し上げます。

「合気道は、徹底的に無抵抗主義である。」という開祖の教えを忠実に守り、開祖の合気道を体現できるよう師匠・先輩に教授いただき、技を研究し、磨き、後進にも稽古指導を続けています。その為、私は日頃の稽古において、特に技の形を意識して稽古に取り組んでいます。今回、意気揚揚で演武に臨みましたが、思うように身体が動きませんでした。後で動画を拝見しますと、生硬い技で「これは修行が足りない」と改めて痛感させられました。大いに反省し今後の糧といたします。

昨今の日本社会は、治安の悪化が問題となっています。武道が教育に与える精神性は勿論のこと、「身を守り、人を守る」という護身についても注目されています。合気道は元々、護身を目的とした武道です。

私共合気道を稽古する者は、開祖植芝盛平先生が説かれた「万有愛護の精神」を体現するべく、稽古鍛錬を積むことが肝要と存じます。

最後に、私を全日本合気道演武大会に選んでくださいました東京都合気道連盟の役員の先生方に深く感謝申し上げ、筆を擱めます。ありがとうございました。



この度は、第二十二回全国高等学校合気道演武大会が開催され、全国高等学校合気道連盟に加盟する三十五校と都道府県連盟所属の二十五団体・道場から高校生三百八十一名が参加しました。そのうち東京都合気道連盟からは、荒川合気会・東村山市合気道会・修武館・合気道新川道場・合気道三心会の五団体十八名が参加しました。

全国高等学校合気道連盟加盟校の演武の後、都道府県連盟加盟団体の演武となり、北海道・福島県・京都府・兵庫県・奈良県・大阪府・埼玉県・神奈川県・千葉県の各連盟に続き、最後に茨城県連盟と東京都合気道連盟が赤白の演武場に分かれて高校生らしい瑞々しい演武を披露しました。東京都合気道連盟の高校生たちも植芝充央本部道場長による模範演武を間近で見学し、後半の鈴木俊雄本部道場指導部師範による講習会にも参加しました。高校生にとって有意義な体験ができたと思います。来年以降も東京都合気道連盟からたくさんの高校生の参加を楽しみにしております。

(記・美濃部)

中央区合気道連盟の活動報告をさせていただきます。今年度も九月十四日(日)、中央区秋季区民体育大会の一環として、令和七年度第五十五回中央区合気道連盟演武大会を開催いたしました。私たちのホーム道場である日本橋浜町公園内にあります中央区総合スポーツセンター武道場にて、合気会本部道場 烏海幸一師範をお迎えして、当団体と中央区からは子供たちを含む、総勢一一〇名が参加し、たいへん盛況な演武大会となりました。昔から親しく交流のある各友好団体の皆様がそれぞれの日頃の稽古の成果として演武を披露してくださいました。が、それぞれが研鑽を積んできたことがわかる演武が多く、お互いに大変良い刺激となりました。子供たちも大勢参加してくれて、かわいらしいながらも大人顔負けの基本に忠実な技を見せてくれました。また一堂に会した各道場の代表者演武も大変勉強になるものでした。そして烏海師範の演武を堪能し、プログラムを終えました。今回も私共の演武大会に東京都合気道連盟のご後援を賜り、心より御礼申し上げます。これからも中央区合気道連盟として連盟事業に貢献できるよう精進してまいりたいと存じます。改めて御礼申し上げます。

(記・中央区合気会武藤重紀)

全国高等学校合気道演武大会報告

中央区合気道連盟演武大会 後援報告



井阪有一理事長、美濃部智子副理事長の就任と神谷正一副理事長、小柳俊一郎副理事長及び鈴木俊雄副理事長の再任をご報告するとともに、藤城清次郎顧問が理事長を、大田勤相談役及び木下悦子相談役が副理事長をそれぞれ退任した事をお伝えいたしました。

令和七年四月十九日に行われた第四十一回東京都合気道連盟評議員会における役員改選の結果を踏まえ、新旧の正副理事長八名が四月二十八日に植芝守央道主、植芝充央本部道場長に就退任のご挨拶を申し上げました。

井阪有一理事長、美濃部智子副理事長の就任と神谷正一副理事長、小柳俊一郎副理事長及び鈴木俊雄副理事長の再任をご報告するとともに、藤城清次郎顧問が理事長を、大田勤相談役及び木下悦子相談役が副理事長をそれぞれ退任した事をお伝えいたしました。



植芝守央合気道道主におかれましては、令和七年春の叙勲に際しまして合気道の普及及振興による公共への貢献により旭日小綬章を受章されました。
令和七年十一月九日(日)京王プラザホテルに於きまして、植芝守央合気道道主旭日小綬章受章祝賀会が開催されました。

◇ 発起人

多田 宏 (公財)合気会本部師範
林 典夫 (公財)合気会常務理事
尾崎 响 全日本合気道連盟相談役・東京都合気道連盟顧問

令和七年十月三十一日(金・祝)～十一月二日(日)までの三日間、千葉県勝浦市の日本武道館研修センターにおいて第十三回全国合気道指導者研修会が行われました。
全国より中学校、高校学校の教職員、及び都道府県連盟の推薦する指導者が、合気道の指導法に関する実技と講義を受け学校における合気道の指導法について理解を深めることを狙いとしたもので、東京都合気道連盟からは、井阪理事長、嶺岸理事の二名が参加しました。
初日は、開校式に続き、植芝充央合気道本部道場長から合気道の歴史の解説、「指導者としての心構え」について講義があり、指導者における姿勢や責任の重さを改めて認識いたしました。特に、技術の正確さのみならず、受け手との調和、安全管理、さらには道場全体の雰囲気づくりに至るまで、指導者の在り方が稽古の質を大きく左右するというご指摘が印象に残りました。合気道の基本技、体捌き、礼法、受け身、角落し、小手返しの形等を稽古しました。休憩をはさんで、講師の前川直也教授による、「指導者が注意しておきたいこと」の講義が行われました。



二日目は、二手に分れての講習で、学校関係の先生方は梅津翔本部道場師範と桑原将太本部道場指導員が担当しました。全国指導者は尾崎响全日本合気道連盟相談役による講義が行われました。午後からは、講師の園部先生から「具体的な学びを促すアプローチ」の講義ありました。
実技では日野皓正本部道場師範から中学校合気道指導法について、模擬授業として体育教員が現在の実施している指導法を皆さんで学びました。
三日目は林典夫合気会常務理事から学校授業の事例を三校紹介され、詳しく発表報告がありました。「現場の先生方とよく打ち合わせを行い、進めていく事が、合気道を好きになって稽古が出来ることが大事です」とご意見を頂きました。その後、閉校式、修了証書授与が行われ解散となりました。
今回の研修会で得た学びを各道場や学校現場で活かし、安全で充実した稽古環境づくりの重要性を再確認しました。
全国各地より、多数の指導者が集い、合気道の理念と指導法について研鑽を深める有意義な研修会となりました。

植芝守央合気道道主 旭日小綬章受章祝賀会

全国合気道指導者研修会報告



副理事長
美濃部 智子
合氣道土井道場 代表

加盟団体の皆様のご協力を賜りながら、東京都合気道連盟の発展を願い精一杯務めます。よろしくお願いします。



副理事長
小柳 俊一郎
合気道泰門会 代表

東京都合気道連盟のより良い運営の為、尽力いたします。今期もよろしくお願いいたします。



副理事長
神谷 正一 *

鷹の台合気道同友会 代表
3期目の副理事長を仰せつかりました。理事長の補佐役として、微力ながら連盟の円滑な運営に努めます。



理事長
井阪 有一

NTT東日本東京合気道部 監督
理事長として、加盟団体の皆様にお役にたてるよう微力を尽くす所存です。みなさまのご助力あっての連盟ですので引き続きよろしくお願いいたします。



※ (公財)合気会推薦



理事
数家 誠司

港区合気会 会長

このたび都連理事に再任いたしました。微力ながら連盟の運営・発展に尽力いたします。



理事
大橋 健司

中央区合気会 指導部理事

微力ながら都連の発展に尽力して参ります。皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



理事
梶浦 真

稻門合気倶楽部 幹事
創立40周年を迎、微力ではありますが更なる連盟の発展を目指して尽力してまいります。



理事
領岸 正樹

仲池合気道同好会 会長

会員の皆様と協力し合い、明るく活気ある連盟づくりに取り組んでまいります。



副理事長
鈴木 俊雄 *

本部道場 指導部 師範
東京都合気道連盟加盟団体のさらなる発展を願い、共に歩んでまいります。



理事
本橋 慶子

合気道なごみ会 代表

連盟の活動を通じて、合気道の普及、発展に努めてまいります。



理事
安威 恒太郎

荻窪合気道同好会 代表

この度、東京都合気道連盟理事を拝命し、その役割の重さを厳肅に受け止めて職務遂行に努力する所存です。



理事
野瀬 輝男

板橋区合気会 理事長

前期の監事から、今期理事を務めさせていただくことになりました。引き続き宜しくお願い申し上げます。



理事
植田 純子

荒川合気会 赤羽岩淵道場長

連盟の更なる発展の一助となれますよう努めてまいります。



理事
中島 敬二

中野区合気道会 副会長

2期目となります。東京都合気道連盟の発展のために精一杯貢献していきたいと思います。



理事
安藤 哲郎

合気道小金井同好会 会長

理事から監事へと立場は変わりましたが、連盟発展のため、鋭意努力いたします。よろしくお願いいたします。



理事
堀越 祐嗣

合気道北千住道場 道場長

微力ではありますが、東京都合気道連盟のさらなる発展の為に尽力したいと思います。



理事
奥山 大輝

合気道北八王子道場 代表

未熟な点も多々ございますが、諸先輩方から学びを得ながら精進し、会員の皆さまのお役に立てるよう努めています。



理事
斎木 光太郎

合気道小金井同好会 副会長

今期より理事を拝命いたしました。微力ではありますが連盟の運営に精一杯貢献してまいります。



理事
國分 律之

城東誠和会 理事長

新任理事として、皆様と共に連盟の発展に貢献できま精一杯努めます。

第41回評議員会資料

令和6年度収支決算報告

東京都合気道連盟

自:令和6年4月1日 至:令和7年3月31日

資料3

収入		支出	
一般運営費収入	6,371,095	組織加盟費	920,000
前年度継越金	3,879,209	通信費	12,796
連盟会費	2,490,000	会議費	39,500
その他の収益	0	会議費	0
受取利息・雑収入	1,886	事務・消耗品費	11,207
評議員会	414,000	慶弔交際費	302,340
理事会	0	広告費	36,304
錬成大会	202,000	事務所管理費	210,000
演武大会	800,328	交通費	30,974
都体協助成金	200,000	支払手数料	5,767
地域社会研修会	0	講習会料	0
初心者指導法	118,000	謝礼金等	0
その他	0	評議員会	425,600
少年部指導法	96,000	理事会	278,000
武道館杯謝金	30,000	錬成大会	122,667
		演武大会	1,330,494
		地域社会研修会	14,800
		初心者指導法	96,709
		広報事業	415,402
		少年部指導法	84,804
		助成金返金・積立金	0
		合 計	4,337,364
		収支差額	3,894,059
		8,231,423	8,231,423

貸借対照表

資産		負債及び資本	
郵便貯金	1,021,781	収支差額	3,894,059
三井住友銀行	2,243,940	周年行事積立金	2,500,000
郵便振替	541,044		
現金	21,294	令和7年度評議員会会費	121,000
周年行事積立金	2,500,000		
令和7年東京武道館	187,000		
	6,515,059		6,515,059

令和7年度収支予算

東京都合気道連盟

収入の部

科目			予算額		
款	項	目	金額	合計	備考
金収入	連盟会費		2,640,000		
				15,000円 × 176団体	
事業収入			4,348,500		
	演武会	東京都合気道演武大会(6/15)	1,400,000	40周年記念演武大会 参加費 1,000円 × 120名 120,000 懇親会10,000 × 20 200,000	
	講習会	東京都合気道錬成大会(12/14)	1,000,000	40周年記念錬成大会 参加費 2,000円 × 500名 1,000,000	
	祝賀会	連盟創立40周年記念(12/14)	1,500,000	祝賀会 150 × 10,000 1,500,000	
	評議員会		448,500	情報交換会参加費 6,500円 × 69名 448,500	
補助収入	(公財)東京都体育協会		200,000	東京都合気道連盟広報助成金	
前年度継越金			3,894,059	3,894,059	
合 計			11,082,559		

※予算額(収入)は令和6年度参加者実績を元に定めた。
※演武大会、錬成大会は周年行事として計上。

監査報告書

東京都合気道連盟

理事長 藤城 清次郎 殿

令和6年度事業状況並びに会計(収支決算書・貸借対照表・収入支出明細一覧)を監査しました結果、正確かつ妥当であることを認めます。

令和7年4月7日

監事 振越祐嗣 印

監事 野瀬輝男 印

東京都合気道連盟

支出の部

科目			予算額	
款	項	目	金額	備考
事業費			9,145,000	
組織加盟費	全日本合気道連盟		750,000	年会費
	東京都体育協会		160,000	分担金・賛助金
	東京武道館武道協議会		10,000	年会費
講習会	錬成大会		1,400,000	40周年記念
	大会諸費		2,394,000	40周年記念 2,044,000 懇親会35
その他	地域社会研修会 初心者・少年部指導法 講習会		15,000	
祝賀会	東京都合気道連盟創立40周年記念		1,500,000	150 × 10,000 1,500,000
広報	広報誌印刷・郵送費		416,000	(年2回)
40周年記念事業	記念品・記念誌・補助		2,500,000	周年行事積立金より
管理費			1,380,000	
会議費	評議員会		426,000	
	理事会		278,000	
	周年実行委員会		0	
事務費	通信費		13,000	
	諸会費		40,000	
	事務・消耗品費		12,000	
	事務所管理費		210,000	
	慶弔・交際費		303,000	
	広告費		37,000	墨中・年賀広告
	交通費		31,000	会議交通費を含む
	雜費(支払手数料)		10,000	
予備費			577,559	
予備費			577,559	
合 計			11,082,559	11,082,559

※予算額(支出)は令和6年度支出額を元に、百円単位以下を繰り上げて定めた。
※演武大会、錬成大会は周年行事として計上。

東京都合気道連盟

〒162-0056 東京都新宿区若松町17番18号 (公財)合気会内

電話 03-6457-3315 FAX 03-6457-3317

E-mail: info@tokyo-aikido.com https://www.tokyo-aikido.com/

